

平成30年度 事業報告書（モデル的事業）

団体名：久々野まちづくり運営委員会

1. モデル的事業名	魅力情報発信事業		
2. 事業名	魅力・お宝発信事業		
3. 事業期間	H30～R2（3年）	4. 事業進捗率	20%
4. 目的	<p>(1) 情報発信事業 久々野に魅力を感じるファンを作り、久々野に住みたいと思う人を増やすため、コミュニティービジネスの創出および移住者を久々野へ誘う仕組みを構築する。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野の魅力を外部に発信する仕組みが乏しい</li> <li>・久々野地域の情報が得にくい</li> <li>・まちづくりの事業に若い人が興味を持たない</li> </ul> <p>(2) お宝マップ作成事業 身近な「まちの魅力」探しを行い、まちの長所を伸ばすことで住民が住みたい、子どもたちが将来久々野に残りたいと思える魅力あるまちづくりを行う。</p> <p>[地域課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都会へ憧れ、若い人が地元に残らない（都会への流出）</li> <li>・地元に魅力を感じていない</li> <li>・お宝（地域資源）の埋没</li> </ul>		
5. 事業実績	<p><b>【平成30年度】</b></p> <p>(1) 情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久々野地域の若者（商工会青年部、農業青年生産者など）を主体とした実行委員会を設立。</li> <li>・多摩大学との交流事業の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>①久々野の歴史、文化、自然、特産などの情報発信の必要性、効果的方法などについてワークショップの開催。</li> <li>②多摩大学の指導者及び学生を招き、外部の人の目に久々野地域がどう映るのか、何が久々野の魅力でどう発信すればいいのかの実践講座を開催。</li> <li>③久々野中学校2年生とのワークショップを開催。 地域住民が発信者となる自発的情報発信の仕組みを構築し実践。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) お宝マップ作成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成10年に作成した「久々野のお宝マップ」の検証。</li> <li>・町内会、子ども会、学校関係者などをメンバーとする実行委員会を設立</li> <li>・まちづくりスポットから講師を招き、事業の進め方や有効利用についての意見交換や久々野の地域特性についてワークショップを開催。</li> </ul>		

<p>6. 事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信を行う仕組みを実行委員で構築することで、より広範囲で多くの情報を今まで以上に発信できた。</li> <li>・実行委員が情報発信することで、魅力が委員同士で共有された。</li> <li>・地域資源を発掘し、郷土愛の醸成を意識。地域の愛着が増した。</li> <li>・若い人が実行委員となったことで、まちづくりに興味を抱き、まちづくりへの参画のきっかけとなった。</li> <li>・地域資源が貴重なお宝と気づくことで特産品化へ意識を向け始めた。</li> <li>・地域からよそへ就職、修学した仲間にも久々野の魅力が発信できた。</li> </ul>
<p>7. 今後の見通し・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに多くの情報発信を行うため実行委員だけでなく地域を巻き込む工夫が必要。SNSフォトコンテストを実施し、より多くの方に久々野の情報を発信する工夫を実践する。</li> <li>・より地域資源の発掘が必要。若い実行委員が中心となり、さらに久々野の魅力を掘り起こす。</li> <li>・子どもを巻き込み、大人も共に地域学習に取り組む。</li> <li>・実行委員とその地域の子どもたちが実際に現地を歩きお宝を見て回る。</li> </ul>

事業実施内容

(1) 情報発信事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
6月8日	実行委員会準備委員会	実行委員会設立準備	参加者：17名
6月25日	実行委員会	実行委員会設立	参加者：17名
7月1日 ～7月3日	多摩大学交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩大学学生と久々野地内を視察</li> <li>・SNS 講座</li> <li>・SNS 実践</li> </ul>	参加者： 多摩大 27名 久々野 20名
7月18日	実行委員会	実行委員会 (多摩大学交流検証)	参加者：8名
9月11日	実行委員会	実行委員会 (ふりかえりと今後の実践確認)	参加者：12名
10月14日 ～10月16日	多摩大学交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩大学学生と久々野地内を視察</li> <li>・ホームステイ交流</li> <li>・SNS 実践</li> <li>・久々野中学校2年生とワークショップ</li> </ul>	参加者： 多摩大 21名 久々野 10名 ホームステイ7軒 久々野中学校 23名
11月3日	多摩大学学園祭参加	久々野での実践報告と久々野のりんごPR	参加者：2名

(2) お宝マップ作成事業

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
7月17日	実行委員会	実行委員会設立	参加者：12名
8月	あるあるお宝マップ 増刷	平成10年作成の「あるあるお宝マップ」の増刷	印刷費
9月	お宝リストアップ	お宝のリスト作成	事務局
2月18日	実行委員会	ワークショップの開催 講師：まちづくりスポット	参加者：10名

平成30年度 久々野まちづくり運営委員会 収支決算書 (モデル的事業)  
魅力・お宝発信事業

【収入】

単位：円

区分	当初予算	補正額	変更後予算額	決算額	差引額	内 訳
市補助金	1,500,000	0	0	1,500,000	0	協働のまちづくり支援金 (モデル的事業)
自主財源	0	0	0	473,789	0	
合 計	1,500,000	0	0	1,973,789	0	

【支出】

単位：円

事業・科目	当 初		補正額		変更後		決算額		差引額	
	予算額	支援金充当額		支援金充当額	予算額	支援金充当額		支援金充当額		支援金充当額
魅力情報発信	1,326,000	1,326,000	0	0	0	0	1,823,109	1,349,320	497,109	23,320
報償費	108,000	108,000	0	0	0	0	219,011	219,011	111,011	111,011
旅費	840,000	840,000	0	0	0	0	812,960	812,960	△27,040	△27,040
需用費	18,000	18,000	0	0	0	0	146,846	67,841	128,846	49,841
役務費	20,000	20,000	0	0	0	0	118,808	118,808	98,808	98,808
使用料及び賃借料	340,000	340,000	0	0	0	0	130,700	130,700	△209,300	△209,300
会議費	0	0	0	0	0	0	394,784	0	394,784	0
お宝マップ	174,000	174,000	0	0	0	0	150,680	150,680	△23,320	△23,320
報償費	154,000	154,000	0	0	0	0	74,000	74,000	△80,000	△80,000
需用費	10,000	10,000	0	0	0	0	75,600	75,600	65,600	65,600
役務費	10,000	10,000	0	0	0	0	1,080	1,080	△8,920	△8,920
合 計	1,500,000	1,500,000	0	0	0	0	1,973,789	1,500,000	473,789	0

平成30年度 久々野まちづくり運営委員会 支出内訳書 (モデル的事業)

単位：円

事業・科目	決算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費			
久々野の魅力情報発信	1,823,109	1,349,320	
報償費	219,011	219,011	実行委員報酬(19名)、2回目訪問時 学生ホームステイ先謝礼等
旅費	812,960	812,960	多摩大学来高 旅費・宿泊費等
需用費	146,846	67,841	食事代等
役務費	118,808	118,808	SNS サービス利用料、郵送料、振込手数料
使用料及び賃借料	130,700	130,700	バス借上料 3日間*2回
会議費	394,784	0	懇親会費
久々野お宝マップ	150,680	150,680	
報償費	74,000	74,000	実行委員報酬(9名)、講師料(WS講師2名、旅費、物品料込み)
需用費	75,600	75,600	印刷費
役務費	1,080	1,080	振込手数料
合 計	1,973,789	1,500,000	